

「かなえ今年度中に方針を明らかに」
桜木 善生
（社会・市民会議）

【質問】活動センターかなえに関して、
 ①耐震診断もいまま、暫定利用が続いているが、課題解決のめどは、
 ②公有地の利用について検討し、秋までに市の方針を決めてもらいたい。
答弁 ①具体的なスケジュールを示せる段階ではないが、最大限の努力をしていきたい。②全庁的に検討していくことに変わりはない。利用の方向性を示せるよう努力していきたい。
【質問】市長選で「市政のチェンジ」と言ったことに対して、保育園の民営化が阻止できる、何かが変わるかもしれないと思っただけではないか、結果として変わらないのであれば、そのことを認め、きちんと話して謝罪するの筋ではないか。
市長 保育園の在り方を検討できていないことや民営化への取り組みが進んでいないことについて、説明しおわびも申し上げなければならぬと考える。

「コンパクトシティ」って何？」
佐藤 一郎
（みんなの党）

【質問】市長報告で取り下げた「コンパクトシティ」とは何だったのか。
市長 南沢五丁目大型商業施設に關して、私が思い描いていた「コンパクトシティ」は地区計画の見直しを前提としたものであった。地区計画を見直し、商業施設だけではなく別の機能も入れていきたかったと申し上げてきたが、実現できなかったと申し上げてきた。この「コンパクトシティ」は取り下げた補助金は見直しの対象となるはず。そのような団体が幾つあるのか資料の提出を求める。
答弁 現在調査しており、9月議会までには提出する。
【質問】今年度実施される予定のタウンミーティングのテーマは。
市長 市の厳しい財政状況をお伝えし、意見を伺い、お答えする場にした。

「安全安心のまちづくりを！」
関根 光浩
（公明党）

【質問】相次ぐ登下校時の交通事故を受けて交通安全対策の取り組みは。
答弁 学校、PTA、警察と市が共同で現地調査を行い、看板・路面標示等で安全対策を講じている。信号や横断歩道、速度制限は早急な実施が難しいので、警察の指導を受けながら対策を実施する。自転車・歩行者については、関係団体と連携し、安全利用キャンペーンを実施するなど啓発活動に努める。学校においては、日常的な安全指導ほかの取り組みで、道路事情に応じた安全な通学ができるよう指導している。今般の事故を受け、改めて各学校に指導の徹底を指示した。
【質問】孤立死問題の現状と課題は。
答弁 予防のため高齢者あんしん生活調査を行い、また、8つの見守り事業に取り組んでいる。地域包括支援センターと協力機関の連携が一層進むよう検討する。

「市民との対話」を担保せよ！」
沢田 孝康
（公明党）

【質問】公営計制度導入の進捗状況は。
答弁 今年度中に固定資産台帳のデータ取り込みを完了したい。国・他団体の動向を注視・調査し、東京都主催の会計制度改革研究会参加により、先進事例の取り組み状況等について、意見交換、情報収集していく。
市長 国の動向を見極めて判断する必要があると考えている。
【質問】使用料・手数料の見直しと補助金・負担金の再検証の進捗状況は。
答弁 使用料・手数料については、公共施設使用料のあり方検討委員会における検討、使用料算出の一定の方向性が確認された。今後、素案に対するパブリックコメントを実施し、8月に最終報告書提出の予定。
市長 補助金・負担金については、事業内容・決算状況等の検証を継続実施し、諸団体の役割分担の在り方について協議していく。

「自殺防止対策に全庁的取り組みを」
篠原 重信
（日本共産党）

【質問】自殺防止対策について、経済・健康・労働などもさまざまな問題が関係しており、全庁的・横断的の取り組みが望まれるが、見解は。
市長 効果的に進めるためには市内の連携が必要であり、関係部署による調整会議を検討したい。
【質問】家庭・み有料化に関して、①前市長は「経済状況を勘案し実施を見送った」。現状認識は、②排出量は年減少しているが、実施する理由は、③当市は最終処分場の持ち込みはなく、処分場延命のためには得て置かざるを得ない。④経済情勢は厳しいが、重要な施策の一つであり、取り組むべきか。
答弁 ②目的はごみ減量・負担の公平性。市民の意識向上もある。③埋め立てはしていないが、搬入割当容量を超過し、課税金が課せられている。東京たまご広域資源循環組合構成市として一層の減量が重要である。

「命を守る防災を！」
村山 順次郎
（日本共産党）

【質問】東京都が新たに公表した直下型地震の被害想定について、①今後の取り組みは、②死・重傷への対策は。
答弁 ①マクニチュート1.1、死者は震度6弱から6強が想定され、死者44名、建物全壊1棟等のほか、避難者もこれまでの倍の2万2千人を超える子割されている。食糧備蓄をはじめ、地域防災計画のさまざまな見直し作業を進める。②建物の耐震化、家具転倒防止で被災に努めていきたい。
【質問】学校図書館の司書配置をはじめとした改善・充実の状況は。
答弁 学校図書館には図書センター、学習情報センターとしての機能向上が必要である。児童・生徒と本とをたくさん司書配置が求められる。今後、総合的な学校図書館整備計画を策定し、司書配置に向け努力していく。
市長 向けに教育委員会の考えを尊重し、後押ししていく。

「公共施設メンテナンスは喫緊の課題！」
富田 竜馬
（市議会民主党）

【質問】公共施設の維持管理・更新は市政の大きな課題である。個別的に簡易版の公共施設メンテナンス白書を作成したが、これは市で取り組むべき。公共施設の維持管理・更新について、①将来コトを推計すべき、②財源措置として公共施設等整備基金の活用を、③当面の対応として、今後10年程度に必要な改修内容の集約を今年度中に実施したい。④課題解決に向け、当該基金の在り方について整理を行ってほしい。
【質問】不審者情報の保護者への周知について、現状の固定電話による連絡網では、不在等によりリアルタイムに周知できていない実態がある。携帯電話のメール配信を活用できないか。
答弁 運用上の課題があり全庁的な導入は考えていないが、提案も含め、情報の確実な伝達と即時性の確保について体制整備を学校に指導する。

「利用者への困ったに丁寧な対応を」
間宮 美季
（社会・市民会議）

【質問】介護保険制度改正で生活援助、通所介護の時間区分変更が行われたが、
 ①利用者への情報提供、②事業者の指導について伺う。
答弁 ①広報特集号、利用の手引き改定版を発行。また、ケアマネジャー市の窓口、地域包括支援センターで個々に対応。②利用者に対する説明を行っている。理解を得るよう、助言・指導している。理解を促す考えは、②専門資格を有し長く動いている嘱託職員の継続雇用の検討を求めるが、
答弁 ①意見は募集事項や仕様書を作成する中で参考にする。また今後、募集事項の概要等を説明し、意見を頂きたいと考えている。②図書館運営に必要な貴重な人的資源・財産と考えているが、図書館全体の中で必要となる人数が定まっている。

「都市マス改定 通学事故根絶を」
小山 實
（自民クラブ）

【質問】都市計画マスタープラン改定後の具体的対応策、①市民との適切な情報共有が必要と考えるが、仕組みづくりは、②市民検討委員会を今後もある継続的な組織として活用する考えはあるか。
市長 ①具体的な提案はできないが、より良いまちづくりのため、市民と行政がともに考えていける仕組みの構築に向け取り組んでいきたい。
答弁 ①まちづくり関連の問題解決のために協力頂ければと思うが、継続的というところは考えていない。
【質問】通学時の痛ましい交通事故が続いて起きている。通学ルートの徹底的な点検と対策を実施すべき。
答弁 文部科学省から安全点検・安全確保の推進に取り組みよう依頼があり、学校、PTA、警察と市が共同して点検を実施し改善を行っていく。一連の事故を受け、さらに路面標示や標識の設置等の対応を図っていく。

「命を守る防災を！」
村山 順次郎
（日本共産党）

【質問】市の補助金交付規則では、第11条において、補助事業者に対し、実績報告書の提出を義務付けているが、同条第3項で「別に定める理由により、全部または一部を省略する」とができることとしている。①別に定めることとは何か、②なぜ、このような項目を設けているのか。
答弁 ①各所管において制定している交付に関する要綱を指す。②団体に対する運営補助等については、各団体が独自に決算審査を行う中で、補助金の使途を明確にして、それを実績報告で伝えることも可能としているため。
【質問】全庁の実績報告書の領収書は添付されているか。
答弁 運営費補助のみに包括補助という形で一定額を出している場合、領収書を補助事業者の方で保管しているものもあり、全てが市にあるわけではない。

「市民が憩える水辺環境の保全を」
梶井 琢太
（市議会民主党）

【質問】湧水・清流保全都市宣言を行った市として、今後具体的な保全策が必要であるが、①雑排水出口に向けた下水道接続の促進に向け、千葉市のような指制度導入等、制度的な面からの検討を深めたい。②武蔵野市は雨水利用条例を可決。戸建住宅や学校等公施設への雨水浸透施設設置拡大が湧水かん養に必要と考えるが、
答弁 ①戸別別荘等に雨水浸透設備の減水傾向を見ながら、千葉市の条例についても検討したい。③市のHPや環境市民会議を通じ、市民に普及啓発を予定している。学校施設では7年度以降以降に、雨水利用を促進していきたい。
【質問】河川沿いの遊歩道で歩行者の安全を図るため、自転車の安全対策が必要と考えるが、具体的な改善方法は。
答弁 「歩行者優先 路面標示の指導や看板等」の細かく表示していきたい。

「公約違反市長で進むイオン建設」
宮川 豊史
（久留米ハートネット）

【質問】馬場市長就任後、3年連続で年度開始前に予算が成立していない。その最大の原因は市長の公約違反。3月議会での市長の辞職勧告決議が可決されたが、いまだ政治的責任をとっていない。決議を無視し続ければ、予算可決の可能性は低い。馬場市政が続くことで希望を持っていない人もいるかもしれないが、東久留米市を必ず立ち直らせるという決意で議員活動に取り組む。9月議会まで保育園次期民営化対策案を示すのは新たな公約違反では。
市長 長の責任として明らかにする。【質問】 事業仕分けを行つたら削減目標を明確にすべき。
市長 各事業には受益者がいる。最終的には市長として総合的に判断する。
【質問】イオン誘導について、周辺道路の渋滞対策は十分だと考えているのか。
市長 事業者、東京都の協力による一定の交通処理が図られるものと考えている。

「誰もが参加できる防災訓練を!!」
細谷 祥子
（自民クラブ）

【質問】学校施設を利用し、夏休み期間に平日実施の総合防災訓練を、六仙公園等で休日に行つてもらうことを提案するが。
市長 六仙公園は、災害時の避難広場として防災的な機能をもった公園として整備する方針が示されている。今後、東京都と協議したい。
【質問】宅地開発により、一街区に何軒もの同じ住居の家屋が建てられることがある。①近々、約10軒が同じ住居になることが懸念されているが、対応は、
 ②緊急時には警察・消防による場所の特定が難しくなると思うが、対応は。
答弁 ①問題は認識している。規則性を保ち、1住居に1つの住居番号を付定する工夫をしよう。②東京消防庁では、通報者が屋外で緊急車両の案内・誘導することを求めている。また、固定電話の場合は、場所が特定できる支援システムにより対応が図られている。

「一般質問」



本会議の進行を務める篠宮正明議長

「待機児童解消をどう進めるのか」
阿部 利恵子
（公明党）

【質問】待機児童の解消策について、①公立保育園の定員弾力化、②認可外保育園利用者への負担軽減に取り組む考えは。
答弁 ①最低基準の職員配置、面積基準があり、それを上回って定数を弾力化することは難しい。
市長 ②社会福祉審議会子育て支援部会に保育料の適正な負担の在り方について諮問するが、その中で、認可外保育所の適正な負担の在り方と認可外施設に預けている方への手当てを議論していただきたいと考えている。
【質問】増え続ける空き家の管理について、①現状と対策、②条例制定の考えは。
答弁 ①市は法的権限を有していないため、現状では所管部署がなく、民・民での対応をお願いします。防災・防犯・環境面から、今後考えていく。
市長 ②条例による適正管理というところだが、今後の研究課題である。

「震災・事故から児童を守る市政を」
永田 雅子
（日本共産党）

【質問】道路幅が狭く交通量が多い第二小学校正門前の交通安全対策に関して、
 ①PTA・学校が要望する交通擁護員の配置は、②注意喚起の路面標示や電柱などへの標示を要望する。
答弁 ①現在、下校時は正門前と南門付近で、地域のボランティアが児童の誘導を行っている。登校時の安全確保について対応を検討したい。②学校、PTA、警察と市が共同で実施している通学路点検の中で検討したい。
【質問】地震発生時の下校方法について、小・中学校の対応を伺う。
答弁 東日本大震災で明らかになった課題を踏まえ、全ての学校に安全計画の見直しを指示した。また、校長に対して、児童・生徒の校内保護の原則、帰宅方法と連絡体制について、保護者に周知徹底することを求めている。児童・生徒の安全確保に遺漏がないよう、引き続き指導の徹底を図っていく。

「市民が憩える水辺環境の保全を」
梶井 琢太
（市議会民主党）

【質問】湧水・清流保全都市宣言を行った市として、今後具体的な保全策が必要であるが、①雑排水出口に向けた下水道接続の促進に向け、千葉市のような指制度導入等、制度的な面からの検討を深めたい。②武蔵野市は雨水利用条例を可決。戸建住宅や学校等公施設への雨水浸透施設設置拡大が湧水かん養に必要と考えるが、
答弁 ①戸別別荘等に雨水浸透設備の減水傾向を見ながら、千葉市の条例についても検討したい。③市のHPや環境市民会議を通じ、市民に普及啓発を予定している。学校施設では7年度以降以降に、雨水利用を促進していきたい。
【質問】河川沿いの遊歩道で歩行者の安全を図るため、自転車の安全対策が必要と考えるが、具体的な改善方法は。
答弁 「歩行者優先 路面標示の指導や看板等」の細かく表示していきたい。

「図書館で培われた専門性を大切に」
白石 玲子
（ネットワークひろば）

【質問】図書館行政について、①郷土資料室との連携の体制は、②地区館委託に伴い専門員の処遇は、③学校図書館モデル事業を踏まえ学校司書配置の検討状況は、④第2次子ども読書活動推進計画について検討は。
答弁 ①連携は図書館の重要な役割。体制も市長部局と十分に検討し進める。②貴重な人的資源、今後もお力添えを入れていく。③司書配置と蔵書システム導入で利用頻度が高くなり、読書量、読書意欲、読解力が向上、国語の学力を押し上げた。調査結果を受け整備計画を策定、25年度以降、学校図書館の充実を努める。④第1次計画を検証し、第2次計画の策定に取り組む。
【質問】避難所運営について、女性や災害時要援護者への配慮と支援体制は。
答弁 それぞれの特性や実情に即したきめ細かな対応が必要。その視点に立った地域防災計画の見直しに努める。

「学校施設改修とトイレの洋式化」
野島 武夫
（自民クラブ）

【質問】活動センターかなえの施設整備の課題解決に向け、市は最大限の努力をすべき、①現状の取り組みは、②解決に向けた決意を伺う。
市長 ①都府県や民有地を法人が取得する方法や都制度を活用した賃貸借など、さまざまな可能性を追求してきたが、適切な代替地は見いだせていない。今後は、地権者との交渉を進めながら、法人が土地取得や賃貸借するために必要な条件について協議していく。
市長 ②市の最重要課題の一つと認識。解決に向け最大限の努力をしよう。
【質問】小・中学校施設の大規模改修と合わせてトイレの洋式化に取り組むべきと考えるが。
答弁 校舎・体育館の耐震補強工事や空調設備工事等を優先しており、技術的なトイレ改修は進んでいない。今後は、計画的な大規模改修工事の実施に合わせた整備を行っていく。

「市政の混乱は市長に起因する」
並木 克巳
（自民クラブ）

【質問】市長報告のために多くの議員が疑問を抱き、逆にこれだけ議会が混乱していることを市長は理解しているのか。
市長 各議員の中に、これは理解できない、どういふことなのかという質問が多くあり、理解できないという意見が現実としてあることは重々承知している。
【質問】教育行政に関して、①教育におけるスポーツ支援、②生涯スポーツへのシステム化の取り組みは。
答弁 ①学校ごとに、体力向上プログラムや部活動等が実践されている。財源に制約がある中、さまざまな取り組みで、施設面の充実にも力を入れていきたい。②生涯スポーツを支える仕組みづくりは課題として捉えている。子どもたちのスポーツ活動が生涯スポーツへ発展するよう、学校・家庭・地域が連携した取り組みを検討したい。

「市長のまちづくり構想は虚像！」
津田 忠広
（公明党）

【質問】市長選挙直前の定例会で、コンパクトシティという言葉を使ったことが別でも構わないと発言していたが、なぜ「コンパクトシティ」にこだわっているのか。
市長 これが私の基本的なまちづくりの理念である。
【質問】市長のコンパクトシティとは、私のまちづくりという理想・理念、私のコンパクトシティなのか。
市長 私の独自のというは語弊があるが、私が私として示しているものである。
【質問】活動センターかなえの施設整備について、市の対応は。
答弁 重度の知的障がい者の日中活動の拠点等として重要な施設であり、その施設整備は市として喫緊の課題である。代替地についてさまざまな可能性を追求しているが、いまだに満足できない。運営法人と協議をしていく。

「情報公開も意思もなくすすめるのか!!」
原 紀子
（日本共産党）

【質問】重度障がい者の日中活動の場として、活動センターかなえの施設改善を進め、利用者の受け入れを増やす対策が必要と考えるが、
答弁 問題解決のため、法人等と話をしながら最善の努力をしていきたい。
【質問】みなみ保育園民営化に関して、法人選定委員会の会議録も選定結果の点検も公表されない今の状態では市長はどうかと考えるが、
市長 ①行政報告に開いたことについては大変申し訳ないが、各委員に内容をチェックしたがる必要はないと、内容を公表しない。②可能な限り早くたいと考えている。③可能な限り早くしたいが、そのために3者協議を進めたいというところでは、協議を進め、一定の合意が見えて話が進んでいく。

「公共施設メンテナンスは喫緊の課題！」
富田 竜馬
（市議会民主党）

【質問】公共施設の維持管理・更新は市政の大きな課題である。個別的に簡易版の公共施設メンテナンス白書を作成したが、これは市で取り組むべき。公共施設の維持管理・更新について、①将来コトを推計すべき、②財源措置として公共施設等整備基金の活用を、③当面の対応として、今後10年程度に必要な改修内容の集約を今年度中に実施したい。④課題解決に向け、当該基金の在り方について整理を行ってほしい。
【質問】不審者情報の保護者への周知について、現状の固定電話による連絡網では、不在等によりリアルタイムに周知できていない実態がある。携帯電話のメール配信を活用できないか。
答弁 運用上の課題があり全庁的な導入は考えていないが、提案も含め、情報の確実な伝達と即時性の確保について体制整備を学校に指導する。

市政のここが聞きたい

東久留米市地域資源 マスコットキャラクター 湧水の妖精 るるめちゃん

第2回定例会の一般質問は、6月5日～8日の4日間にわたり行われ、21名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第2回定例会の会議録は、8月末より、市HPまたは、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（本庁舎2階）でご覧いただけます。